

第2次 広島県がん対策 推進計画の概要

6つの柱で日本一のがん対策

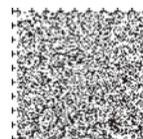
あなたに取り組む 予防と検診

どこでもつながる 医療と緩和ケア

みんなで支える 相談支援

しっかり活かす がん登録

平成25(2013)年3月



音声コード

01. 第2次がん対策推進計画について

計画策定の趣旨

広島県ではこれまで、死亡原因の第1位であり、県民の皆さんの重大な脅威となっている“がん”に対して、第1次の「がん対策推進計画」により「がんによる死亡率10%減少」を目指し、がん検診受診率向上など“弱みの克服”や本県独自のがん医療ネットワーク構築などの“強みの強化”、さらに高精度放射線治療センターの整備という“新たな挑戦”を行い、着実に成果を上げています。※がんによる死亡率(75歳未満年齢調整死亡率)：男性10.6%減・女性5.2%減

しかしながら、がんによる死亡率の減少目標が未達成であることや、がん予防の取組やがん検診の受診が進んでいないこと、また、高齢のがん患者の増加、小児がん、がん患者の就労、がんの教育など新たな課題も明らかになっています。

このような現状を踏まえ、新たな課題や先進的な取組にも果敢に挑戦するとともに、より充実した総合的ながん対策を展開し、皆さん一人ひとりの行動につながるよう「第2次がん対策推進計画」を策定しました。

この計画では、行政や医療機関はもちろんのこと、皆さん一人ひとりが、“がん”は他人ごとではないと関心をもって、予防や検診受診などにおいて、自ら積極的に取り組むことが求められています。

計画期間

計画期間は、平成25(2013)年度から平成29(2017)年度までの5年間

基本理念

次の2つを計画の「基本理念」として、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げた“がん対策日本一”の実現を目指します。

- 1 「県内のどこに住んでいても、どんながんであっても、必要な手立てや情報を受けることができ、安心して暮らせる広島県」を目指し、総合対策を強化する!
- 2 県民みんなが、がんを自分にも起こり得ることとして関心を持ち、それぞれの立場で予防や検診も含めた「がん対策」に取り組む社会をつくる!

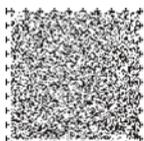
目指す姿(将来像)と全体目標

基本理念のもと、3つの「目指す姿」を掲げ、県民総ぐるみの総合的ながん対策を推進します。また、5年間における施策全体としての効果を計るために、数値目標を設定します。

- 1 **がんで死亡する県民の減少**
→【数値目標】今後5年間でがんによる死亡率*を10%(約330人)減少させます。*75歳未満年齢調整死亡率
- 2 **すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上**
- 3 **がんになっても自分らしく豊かに生きることのできる地域社会の実現**

＝ 重点的に取り組みます

第1次「がん対策推進計画」における、これまでの取組状況を踏まえ、今後一層の充実・強化が必要な課題や、新たに明らかになった課題として、**たばこ対策強化、がん検診受診率向上、がん医療提供体制充実、「在宅」での療養生活を支える医療・介護連携強化、働く世代の就労支援**に重点的に取り組みます。

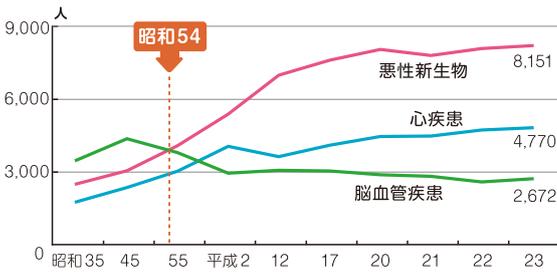


02. がんを取り巻く現状

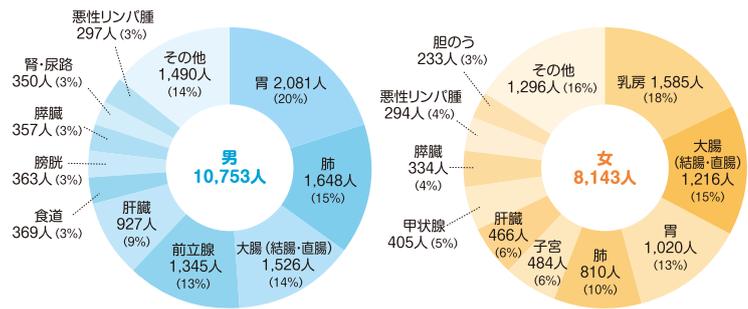
がんの死亡・がん罹患数の状況

- 広島県における“がん”による死亡者は、全死亡者の約3割を占め、昭和54(1979)年から30年以上も死亡原因の第1位となっており、高齢化の進展に伴って増加傾向にあります。
- 1年間で“がん”にかかる人の数は1万9千人程度で、部位別にみると、男性では胃、肺、大腸、女性では乳房、大腸、胃などが多くなっています。

三大死因による死亡者数の推移 (広島県人口動態統計年報)



男女別・部位別のがん罹患状況 (広島のがん登録 平成20(2008)年集計)



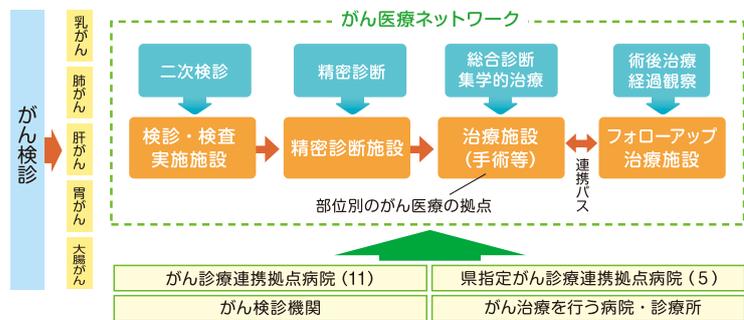
がん医療提供体制の状況

- 広島県では「がん診療連携拠点病院」が県内すべての二次保健医療圏に指定されているなど、住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられる基盤を整備しています。
- 検診から術後のフォローアップまでを切れ目なくつなぎ、適切で安全ながん医療を提供するため、患者数の多い5つのがん(乳・肺・肝・胃・大腸)について、広島県独自の「がん医療ネットワーク」を構築しています。

広島県の二次保健医療圏域・がん診療連携拠点病院



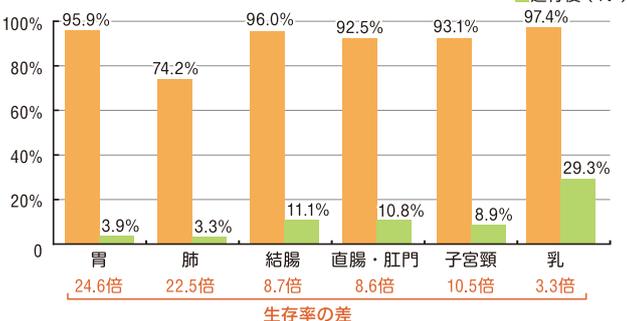
広島県がん医療ネットワーク



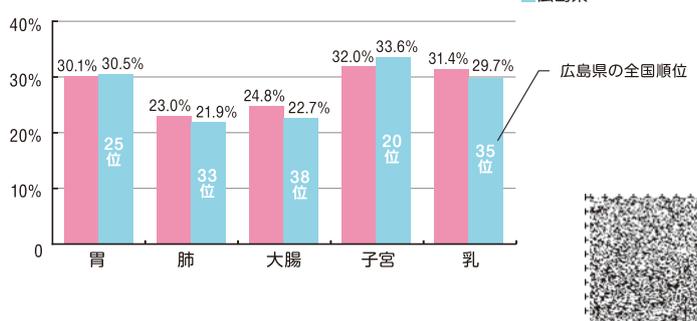
がん検診の状況

広島県におけるがん検診受診率は20～30%程度(全国順位20位～38位)と低迷しており、“がん”が治る確率が飛躍的に高くなる“早期発見”に有効な「がん検診」の機会が十分に活かされているとは言えません。

早期発見がんと進行がんの5年相対生存率の比較



がん検診受診率 (厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」)



03. 「がん対策日本一」の実現を目指して

1 がん予防 —がんにならないために—

がん予防の目指す姿

- 県民みんなが自分もがんになる可能性があることを知って、がんにならない生活習慣を身につけています。
- 県民みんなががんになるリスクを低くする方法を知っていて、実践もされています。
- 肝炎ウイルス検査が陽性であった県民みんなが必ず医療機関を受診しています。



主な対策

- 禁煙や良好な生活習慣の実現に向け普及啓発や禁煙支援・保健指導を充実・強化します。
- 公共機関や飲食店における受動喫煙防止を促進します。
- 肝炎の正しい知識の普及啓発や検査の受検、肝炎ウイルスキャリアの医療機関受診を促進します。

2 がん検診 —早く見つけるために—

がん検診の目指す姿

- 早期発見の重要性を県民一人ひとりがしっかり理解し、「がん検診」やその検査結果によって必要な「精密検査」をきちんと受診しています。
- 県民にとって受診しやすく、死亡率減少につながる効果の高い「がん検診」が実施されています。



主な対策

- がん検診の受診率向上を図るため、普及啓発キャンペーンを展開するとともに、がんよろず相談医や地域のボランティアなどを通じて、県民一人ひとりへの受診勧奨を促進します。
- 受診者の負担軽減を図るため受診しやすい環境づくりを推進します。
- 効果のあるがん検診とするため、精密検査の受診把握など精度向上を図ります。

3 がん医療 —しっかり治すために—

がん医療の目指す姿

- どこに住んでいても、どんながんになっても、安心して適切で安全ながん医療を受けることができます。



主な対策

- がん診療連携拠点病院の機能強化や広島県独自のがん医療ネットワークの拡大・質の向上などを推進し、医療提供体制の充実を図ります。
- 高精度放射線治療センター（仮称）整備や、各分野の専門スタッフの育成、からだに優しい低侵襲手術の技術向上など医療内容の充実を図ります。



みんなの取組

県 民	がん予防の正しい知識を持って、生活習慣の改善に努めます。
医療機関	禁煙指導をするとともに、肝炎ウイルス等の検診や治療に努めます。
民間企業等	従業員に生活習慣の改善を勧めるなど普及啓発や受動喫煙防止に努めます。
行 政	がんにならないための生活習慣などの普及啓発に努めます。

主な分野目標

喫煙率	成人男性22%以下・成人女性5%以下
禁煙・分煙実施率	公共機関において100%実施
肝炎ウイルスキャリアの受診率	B型肝炎ウイルスキャリア60%以上 C型肝炎ウイルスキャリア75%以上



みんなの取組

県 民	がん検診の必要性を理解し、積極的にがん検診を受診します。
医療機関	精度の高いがん検診を行うとともに、患者等に対するがん検診の受診勧奨に積極的に取り組みます。
民間企業等	がん検診の普及啓発や従業員等に対する受診しやすい環境づくりに努めます。
行 政	がん検診受診率の向上や、精度の高い検診実施体制の構築に努めます。

主な分野目標

がん検診	受診率50%以上
がん検診の精密検査	受診率80%以上（未把握率5%以下）



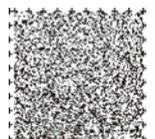
広島県がん検診啓発キャラクター
デーモン閣下さん（悪魔）

みんなの取組

県 民	がんについて正しい情報に基づいて適切に判断し、必要な治療を受けます。
医療機関	効果的な医療連携と人材育成等に取り組み、質の高いがん医療を提供します。
行 政	効果的な医療連携を推進し、がん医療情報の提供に努めます。

主な分野目標

医療提供体制	がん診療連携拠点病院の機能強化 小児がん医療の拠点化による医療水準の向上 がん医療ネットワークの充実による医療連携体制強化
医療内容充実	がん治療の各分野の専門スタッフ育成 高精度放射線治療センター（仮称）運営開始



03. 「がん対策日本一」の実現を目指して

4 緩和ケア—心やからだの痛みを和らげるために—

緩和ケアの目指す姿

- がんと診断された時から、希望する場所で、すべてのがん患者とその家族が、適切な緩和ケアを受けられる体制が整っています。
- “がんと共に” 自分らしく生きるための地域における療養支援体制ができています。



主な対策

- 緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、緩和ケア外来の活動実績等の評価・公表を行うなど、施設緩和ケアの質の向上を図ります。
- 在宅緩和ケアを提供する医療・介護・福祉関係者の顔の見える関係づくりを図るとともに、在宅緩和ケアコーディネーターを配置するなどにより、地域在宅緩和ケアの提供体制を構築します。

5 情報提供・相談支援—自分らしく豊かに生きるために—

情報提供・相談支援の目指す姿

- 県民一人ひとりが“がん”に関する正しい情報の提供を受け理解し、それぞれの立場で予防や検診などの「がん対策」に取り組んでいます。
- がん患者が納得した治療を受けながら、家族とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。
- 医療機関や職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が仕事や家庭生活と治療を両立させながら安心して自分らしく豊かに生きています。

主な対策

- 民間企業やNPO法人等と連携した情報提供の推進やがん診療連携拠点病院相談支援センターの情報提供・相談支援機能を強化します。
- がん患者等が同じ立場で悩みを相談できるようピア・サポートの充実を図ります。
- 子どもへのがん出前講座などのがん教育や、がん患者等の就労に関する相談支援体制づくりや企業への普及啓発を通じて、がん患者等の仕事や家庭生活と治療の両立を支援します。

6 がん登録—がん対策の次の一手に活かす“がんデータ”収集のために—

がん登録の目指す姿

- 精度の高いがん登録が維持されており、がん登録によって得られたがん情報が広く活用されています。
- 県民ががん登録に基づく正しいがん医療などの情報を得ています。



主な対策

- がん登録は、がん患者の罹患や治療状況等の情報を収集し、検診や治療などのがん対策に活用する重要なデータとなるため、医療機関からの届出件数の増加や実務者の資質向上を図り、がん登録の精度向上を図ります。
- 地域がん登録データから算出される生存率の公表や、院内がん登録データから算出される拠点病院等ごとの生存率を活用した診療評価等を促進します。



みんなの取組

県民	緩和ケアの正しい理解に基づき、必要な緩和ケアを受けます。
医療機関	施設緩和ケアの充実や在宅緩和ケアに必要な連携強化や人材育成に取り組み、適切な緩和ケアの提供に努めます。
介護関係機関等	在宅緩和ケアの連携強化や人材育成に取り組み、介護保険施設での緩和ケアの推進に努めます。
行政	すべての方が、がんと診断されたときから、希望する場所で適切な緩和ケアを受けられる体制の充実・強化に努めます。

主な分野目標

施設緩和ケア	緩和ケア病棟、緩和ケアチーム及び緩和ケア外来の活動実績等の評価・公表の仕組みづくり
在宅緩和ケア	地域の実情に応じた在宅緩和ケアコーディネーターの配置など、地域在宅緩和ケア提供体制の構築



広島県緩和ケア支援センター

みんなの取組

県民	がんに関する正しい情報を収集し、予防や検診などの「がん対策」に取り組みます。
医療機関	県民に対しがん医療の正しい情報を積極的に提供するとともに、がん患者等からの様々な相談に応じます。
民間企業等	がんに関する情報提供に参画するとともに、がん患者等が仕事や家庭生活と治療の両立ができるよう支援します。
患者団体等	団体間で連携を図り、積極的に県民に情報発信するとともに、ピア・サポートの充実に取り組みます。
行政	がん患者等を含めた県民に必要な情報が提供されるよう支援するとともに、相談支援体制を充実させます。

主な分野目標

相談支援	ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成
がん教育	子どもを対象としたがんの出前講座を全市町で実施
就労支援等	総合的ながん対策に主体的に取り組む民間企業等との連携



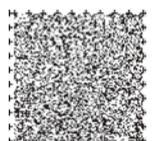
みんなの取組

県民	がん登録データから得られた情報を正しく理解し活用します。
医療機関	がん登録を実施し協力することで、登録精度を向上させるとともに、院内がん登録に基づく情報公開を行います。
行政	精度の高いがん登録を維持し、登録データを予防や医療の向上のための基礎資料として活用し、県民へ分かりやすい情報を提供します。



主な分野目標

登録精度	がん登録精度DCN10%以下の高い精度の維持
データ活用	生存率、がん検診の効果、医療提供体制等の分析への活用



知っておきたい!“がん情報”

がんを予防しよう



がんは生活習慣を改善することで、ある程度防ぐことができます。
みんなで「がんを防ぐ12か条」を実践し、がんにならない生活習慣を身につけよう!

1 たばこは吸わない	2 他人のたばこの煙をできるだけ避ける	3 お酒はほどほどに	4 バランスのとれた食生活を	5 塩辛い食品は控えめに	6 野菜や果物は豊富に
7 適度に運動	8 適切な体重維持	9 ウイルスや細菌の感染予防と治療	10 定期的ながん検診を	11 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を	12 正しいがん情報でがんを知ることから

がん研究振興財団「がんを防ぐための新12か条」より

がん検診を受けよう



がんは、検診により早期に発見された場合、軽い治療でそのほとんどが治ります。
早期にがんを発見するため、がん検診を受診しましょう!

肺がん検診

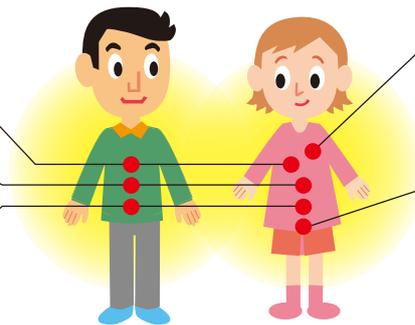
- 40歳以上(年に1回)
- 胸部X線検査
- 喀痰細胞診(ハイリスクの人のみ)

胃がん検診

- 40歳以上(年に1回)
- 胃X線検査

大腸がん検診

- 40歳以上(年に1回)
- 便潜血検査



乳がん検診

- 40歳以上(2年に1回)
- 視触診とマンモグラフィの併用(乳房X線)

子宮がん検診

- 20歳以上(2年に1回)
- 子宮頸がんの細胞診

がんに関する正しい知識を得よう



「広島がんネット」では、がんに関する様々な情報を提供しています。
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

広島がんネット

検索



がん診療連携拠点病院ではがんに関する相談などに応じています。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
広島大学病院 がん医療相談室	直 082-257-1525	尾道総合病院 医療福祉支援センター	代 0848-22-8111
県立広島病院 総合相談・がん相談室	直 082-256-3561	福山市民病院 がん相談支援センター	代 084-941-5151
広島市立広島市民病院 がん診療相談室	直 082-221-1351	市立三次中央病院 がん相談支援センター	直 0824-65-0239
広島赤十字・原爆病院 相談支援センター・がん相談室	直 082-241-3477 代 082-241-3111(3223)	呉共済病院 がん相談支援室	代 0823-22-2111
広島市立安佐市民病院 がん相談支援室	代 082-815-5211(2289)	中国労災病院 地域医療連携室	代 0823-72-7171
広島総合病院 医療福祉支援センター	直 0829-36-3270	尾道市立市民病院 相談センター	代 0848-47-1155(437)
呉医療センター がん相談支援センター	直 0823-24-6358	福山医療センター がん支援相談室	代 084-922-0001
東広島医療センター 医療相談支援センター	代 082-423-2176(6227)	中国中央病院 地域連携室・がん相談窓口	代 084-970-2121

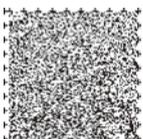
患者団体による
相談窓口

がん患者フレンドコール TEL.082-247-0080

実施主体 NPO 法人
広島がんサポート

問い合わせ先

広島県健康福祉局がん対策課 〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL.082-513-3063 (ダイヤルイン) FAX.082-223-3573 E-mail: fugantaisaku@pref.hiroshima.lg.jp



これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。